



Polaris news

【北高ニュース NO.202105】

「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン ワークショップ」 社会のためにできるアクション (2021.7.6)

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンからファシリテーターの広瀬太智さんに来ていただきワークショップを行いました。5限は児童労働のシュミレーションカードゲームを行い、貧困のため働かなくては生きていけない子供たちについての理解を深めました。6限は2年生も参加し、フリー・ザ・チルドレンのオンラインキャンプに参加した先輩の話と自己肯定感をテーマにしたファシリテーターの方の話を聞きました。7限は Gift+Issue=Change、つまり Gift（自分の得意なこと・好きなこと）を活かし、Issue（興味のある社会問題）に対して取り組むことで、Change(変化)を起こすことができるという考え方を学び、各自で社会のためにできるアクションを考えました。



■生徒の感想より

- 同じアジア人でも、小さい頃から働いている子どもたちがたくさんいることを知り、こんなに裕福な生活を送っていて良いのだろうかとか少し複雑な気持ちになりました。
- 私は臆病なので、やってみたいことや興味あることはたくさんあるのですが、一步踏み出す勇気がありませんでした。しかし、太智さんの「失敗したとか成功したっていうよりも一步踏み出せたっていうことの方がすごいことだ」という言葉を聞いて、失敗を怖がらず、一步踏み出して何かにチャレンジしたいと思いました。
- 7限のワークショップで、案を出す楽しさと新しい発見をすることができました。ただのボランティア活動をするだけではなく、好きなことを組み合わせて行えるのはいいと思いました。
- 高校生のうちに小さなことでも、ボランティアや自分でアクションを起こしていきたいと思いました。